

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 ほくと		
○保護者評価実施期間	2025年2月12日 ～ 2025年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年2月17日 ～ 2025年2月21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	● 食育	<ul style="list-style-type: none"> ●調理師兼食育インストラクターの資格と経験を持つ職員が、食事提供を通して療育の場で生かしている。 ●家庭菜園で野菜を育て収穫し、クッキング活動を経て食している。 ●市場等へ行き食材を実際に見る事で、食に対するの興味が持てるように取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●社会性を身に付ける為に、必要な食事作法(テーブルマナー)についても取り組んで行きたい。 ●行事食などでは、バイキング形式を取り入れ自分で配膳するなどして、身の自立に繋げる。
2	● 同法人である北斗文化学園との交流	<ul style="list-style-type: none"> ●行事の際には、学園の学生にボランティアを募るなどして交流を図っている。 ●学園祭への参加や学園内の体育館を借りて、活動する等一環として交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●学生との交流は基より、療育に関して専門的知識のある学園講師の先生を招いて、当職員への研修の機会を設けて行きたい。

3	<ul style="list-style-type: none"> ● 積極的な戸外活動 ● 明るく笑いの絶えない環境設定 	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の戸外活動の他、年間行事として見学旅行やミステリーツアーなどの日帰り旅行などを実施している。 ●伊達の野菜農家へ出向き、農業体験をし産地直送の野菜を食する事で、食育にも繋げている。 ●自然に笑顔になれるような話題提供や活動内容等、楽しめる環境設定を心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●春夏秋冬を肌で感じられるように、四季折々の行事を計画して行く。 ●大人、子どもに関係なく、仲間意識をもち楽しさを共有できる関係性をより深める。
---	--	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●地域交流の希薄さ 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域交流の一環として、利用児の町内会活動（クリスマス会）への参加を打診したが、利用児の住居が町内には無い事を理由に交流出来なかった経緯がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会役員の方に、当事業所の利用児として参加できる町内会活動を確認し、事前に承諾を得ておく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●建物内の設備構成（バリアフリー化） 	<ul style="list-style-type: none"> ●建物が賃貸という事もあり、管理会社へ設備等の改善を相談したが対応は難しいとの返答だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者からの意見等を含め、繰り返し要望していく。
3			